



中部横断自動車道八ヶ岳南麓 新ルート沿線住民の会ニュース

No.2 2013年2月25日発行

国による地元説明会終わる

問題点について、国から明確な説明なし

1月30日から2月16日まで、計10回(そのほか平沢で1回)の国交省の地元説明会が行われました。ほとんどの会場で200人を超える参加者がありました。会場では質問、意見が相次ぎ、時間切れで閉会のパターンが続きました。

国は、質問には決まって「ワーキンググループに伝える」「データはない」など、一方的な説明に終始しました。

WGの委員が説明会に出席すべきなのです。それにしても「交通量データ」も高速の必要性を裏付けるデータもなく、ただ「高速ありき」だけで物事が進んでいます。そして、わずか3人の委員が神技で沢山の叫びを受け止め、この重大なルートの決断を遠く東京で行おうというのです。託せますか、私たちの思いを。

会場からは「早く日本海を見たい」の声もありました。夢を語るのは自由ですが、2,000億円の借金をして、孫子の代につけを回すことになっても俺は知らんというのでしょうか。

国道141号線の改良を望む声が沢山出ました。国も「脆弱」「危険」「急カーブ」「幅員が狭小」などと回答、ならば改修は緊急の課題です。

ぜひ国道を住民参加で使いやすく安全で走行性の高いものにして、かつ地域振興にも役立つよう皆で議論を始めることができたらと思います。国、県、市はその議論の場を整えてほしいと切に思います。

2/27 北杜市主催で区長など対象に説明会 —— 住民は締め出し

市は、早期建設を求めていることに理解を得たいと2月27日(水)高根ふれあいホールで、区長、商工会、観光協会、地域委員ら500人を集めて説明会を開催する。市は「一般市民は入場できない」とし、「市民対象の説明会の予定もない」と回答。ルートがどの場所でも早くできれば良いとでもいうのだろうか。高速の影の部分や心配する多くの市民の声を拾い上げる努力を放棄したのだろうか。それでは不公平、市民対象の説明会の開催を求めます。

*沿線住民の会の抗議により、入場およびホールでの傍聴が可能になりました。多くの方の参加を！ 当日チラシを配布します。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会 長田 佳久

<https://sites.google.com/site/odandonewroot/oshirase>

連絡先 長田佳久 osada@rikkyo.ac.jp 柴田 武 shibata@a2.mbn.or.jp 090-5807-1418

3 / 3(日)「沿線住民の会」集会のお知らせ

午後1時半～ 大泉総合会館ホールにて

1)ハケ岳南麓には中部横断自動車道を通さないでほしい。

2)国道141号を改修してほしい。

と言う思いで、私たちは10回にわたる国の説明会に参加してきました。説明会で、皆さんはどう感じられたでしょうか。会場で意見の言えなかった方、話したけれどまだまだ言い足りなかった方、ぜひ、お話し下さい。沿線住民の会では、2月20日に会作成議事録と説明会の録音テープを小委員会に送りました。説明会は沿線住民にとったら出発点です。小委員会(ワーキンググループ含む)や国をはじめとして、山梨県や北杜市に抗議すべきことはたくさんあります。いろいろ不安を抱えながら暮らしている沿線住民の会の皆さんに集まっていただき、今後何をしたいらよいか、話し合いたいと思います。ひとり一人が主人公、みんなで知恵を出しあい行動していきましょう。ぜひご参集下さい。

① 説明会に参加された皆さんの意見

② 今後の活動について

小委員会・国交省・県や市・沿線の方に向けてやるべきこと。

③ 沿線住民の会からの提案

*3月とはいえまだ寒いです時期です。各人防寒対策を忘れずにお集まり下さい



東京国土交通省前での抗議活動をします。

3月6日(水)に東京に集結しましょう。

国土交通省に対しての抗議行動と周辺の人に認知してもらう活動を行います。

1、 私たちの思いを書いたチラシを配ります。

2、 署名活動を行います。

3、 メディアを巻き込んだ闘いを通して、国民に無駄な国費が地方で使われている実態を知らせます。

できたらバス1台を出したいと思っています。参加して頂ける方は沿線住民の会副代表 神谷までご連絡ください。連絡先:090-5112-7579 メール tkcn@giga.ocn.ne.jp

* 活動時間や移動の方法は後日お知らせします。

署名活動のご協力を!

現在6,815筆、10,000筆を目指してしています。(署名用紙を同封しました)

抗議はがきをワーキンググループと国交省へ送ろう。

ワーキンググループ

石田東生 〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

久保田 尚 〒338-0825 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

小濱 哲 〒230-0077 神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

二村真理子 〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1

国交省甲府河川事務所所長 吉岡大蔵 〒400-8578 山梨県甲府市緑が丘 1-10-1

国交省関東地方整備局

〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1 さいたま 新都心合同庁舎 2 号館

池田 豊人 国土交通省関東地方整備局 道路部 部長

国土交通省（本省）

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎 3 号館

<https://www.mlit.go.jp/road/soudan/form/iken.html>

岩田 美幸 国土交通省大臣官房技術調査課 技術企画官 技術企画官

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎 3 号館

<http://www.mlit.go.jp/hotline/hotline.html>

坂 克人 国土交通省大臣官房公共事業調査室 室長

◆ハガキ作戦用宛名入りセットを販売しています。（文例集付き）

ステッカーとハガキのセット販売 500 円

3月3日の集会でも販売します。ハガキ 5 枚(宛先 5 か所)ステッカー 1 枚のセットです。何組でもお買い求めください。(カンパも含む) 抗議の文例見本付き。

◆カンパのお願い

運動を進めるには資金が必要です。下記口座へのお振込みよろしくお願い致します。新聞折り込みのチラシ他各種チラシ、ニュース、発送費用、小集会や集会の会場費、立て看板、のぼり旗などの活動資金に使われます。

ゆうちょ銀行 記号 10870 番号 7607201

名義「ヤツガタケシムルートジュウミンノカイ」

山梨中央銀行 高根支店 店番 457 番号 160820

名義「ヤツガタケシムルートジュウミンノカイ」

私はこう思う

新しい高速道路の建設よりも、 既存の道路をずっと使っていけるようにすることが先

昨年12月2日の笹子トンネルの天井崩落事故以来、トンネルや道路などのインフラの老朽化が指摘されています。中央道は建設以来35年が経過してこれからの維持管理に多大な費用を要し、県内の道路も補修が必要な道路やトンネルが多数ありますが、こういう現状の中で国は現存の道路の建て替え費用はおろか維持管理に回す費用は計上せず、新しい高速道路・中部横断道の建設を進めようとしています。

これは誰が考えても順番が逆です。まず、今ある道路をきちんと整備することが大切です。今ある道路に何かあれば、買い物や外出など日常生活もままならなくなってしまうことは明らかで、住民にとっては生活の安心、安定が一番の課題です。

山梨県内では、12年4月時点で修繕が必要な市町村管理の橋674本のうち、実際に修繕されたのはわずか9本、1.3%にとどまっている現状です。これからこの橋は、道路はいったいどうなっていくのでしょうか。トンネルも同じです。甲府の愛宕トンネルでは、1月27日にモルタルがはがれて落下する事故が起きました。

中部横断道に2000億円の巨額の費用をかけるなら、それを既存のインフラの整備に当ててもらいたいものです。

<高根町 佐々木喬>

「能越自動車道」づくりから学ぶ

今回の南麓での説明会で、国の政策決定に一筋縄では住民の声＝民意が反映し難いということが浮き彫りになった。しかし、以下のようにすすめれば民意は反映出来る。

「能越自動車道」では、合意作りをすすめる基本的考え方を「構想段階における住民参画の取り組みを推進する」ことだとし、「みちづくり懇談会」を設け、その中に地域に詳しい住民8人をワーキンググループ(WG)として設置。延べ700人も参加者を9グループにわけ、8ヶ月間に6回のみちづくり懇談会と15回のWGを開催し、ルート帯案を議論した。その際、参加者全員が自らマジックで航空写真にルート帯案を描き、かつ、帯案沿線の町会ごとにタウンミーティングを開催。そして6つの案から総意として1つにまとめ上げた。(事務局は国と地方自治体とし—情報提供・資料作成のみ)。教訓として田中氏は、「行政側より複数のルート案を提示するのではなく、住民自らがルート案を決め、比較、検討する」ことが重要だとし、また、そのようにすすめれば、「必然的に、個人的な希望・要望は通用せず、将来の地域に望ましいみちづくりへ論点は絞られる」と述べている。この経験は中部横断道でも生かされねばならない。

<大泉町 西岡 進>

資料 ～能越自動車道(田鶴浜～七尾)みちづくり懇談会の取り組み～

国土省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 調査第二課 田中義太郎(のまとめ)